

## 長岡地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

### 災害と税金

新潟大学教育学部附属長岡中学校

三年 笠井 愛香

十二年前。私は中越地震を経験しました。水道や電気が使えなくなり、テレビにうつる見慣れた景色は建物が倒れたりしていて全く違うものとなりました。当時幼かった私も衝撃を受けたのを覚えています。しかし翌日には避難所に水や食料などが支給されたり、二週間後には自宅が壊れた人々のために仮設住宅が建設されました。災害直後の人々は不安でいっぱいだったと思います。でもいつも通りに近い生活をとるもどすことができれば、そんな不安も少しは和らげることができると思います。

ではこの復興にはどのようなお金が使われたのでしょうか？

それは税金です。災害により被害を受けた施設や道路、人々に対して多くの税金が使われたと聞きました。

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災にも「復興特別所得税」というものが創設されました。中越地震の時と同様に仮設住宅・道路の建設だけではなく学校や消防署などの建て直し、原発事故の被災者への賠償金に使われるそうです。日本各地でおきる災害の復興のためにたくさんの税金

が役立っています。

また、被害を未然に防ぐことにも税金は使われています。冬になるとたくさんの雪が降る新潟県では「除雪」をしないと人々は生活ができません。この「除雪」にも約八十五億円もの税金が使われています。このような私たちの身の回りの安全にも税金が役立っています。

さらに、私たちの健康にも税金は深く関わっています。健康診断や予防接種などの私たちに欠かせないことから高齢者の方々が安心して暮らせるような介護サービスや施設などにかかる費用に税金が使われています。山間部の地域に住んでいて救急搬送にたくさんの時間を要する場合にはドクターヘリが使われます。機内に救命救急に必要なものが配備されていて治療をすぐに始めることができます。と同時に現場に到着する時間を短縮することができます。なので救命率が上がった後遺症の軽減などをすることができます。このようにとても便利なドクターヘリの費用にも税金が役立っています。

私たちの生活に大きく関わるたくさんの事にたくさんの税金が使われていることが分かりました。

私はこれまで税金といたら「増税」や歴史で習った「農民を苦しめる税」などマイナスなイメージをもっていました。ですが、税金の使われ方や重要性を学んで私たちの生活にはなくてはならないものなんだと分かりました。たくさんのことに役立っている税金をこれからももっと勉強していきたいと思います。